

ALアミロイドーシスに対するメルファラン大量療法を用いた自家末梢血幹細胞移植の最近の成績

○片山雄太¹⁾、麻奥英毅²⁾、板垣充弘¹⁾、大地哲朗¹⁾、岡谷健史¹⁾、許鴻平¹⁾、今中亮太¹⁾、岩戸康治³⁾、岡田武規⁴⁾、許泰一¹⁾
 広島赤十字・原爆病院 血液内科部¹⁾、検査部²⁾、輸血部³⁾、循環器内科部⁴⁾

1. メルファラン大量療法を用いた自家末梢血幹細胞移植術を施行したALアミロイドーシス患者 23症例

- | | |
|---|--------------------------|
| ・年齢中央値 57歳 (35~74歳) 65歳以上が9例 | ・前治療 (2006年1月 ~ 2012年6月) |
| ・男性:女性 = 15例 : 8例 | なし 21例 |
| ・ECOG PS | MD療法 1例 |
| 0, 1, 2, 3, 4 = 9例 , 3例, 5例, 4例, 2例 | auto-PBSCT 1例 |
| ・臓器障害 1臓器 7例 | ・自家末梢血幹細胞採取レジメン |
| 2臓器以上 16例 | G-CSF 単独 21例 |
| ・心不全の有無 | Melpharan 1例 |
| あり 3例 | Cyclophosphamide 1例 |
| なし 20例 | (G-CSF単独で採取出来ず) |
| (なしの17症例中、BNP上昇 15例、troponin-I上昇 3例) | |

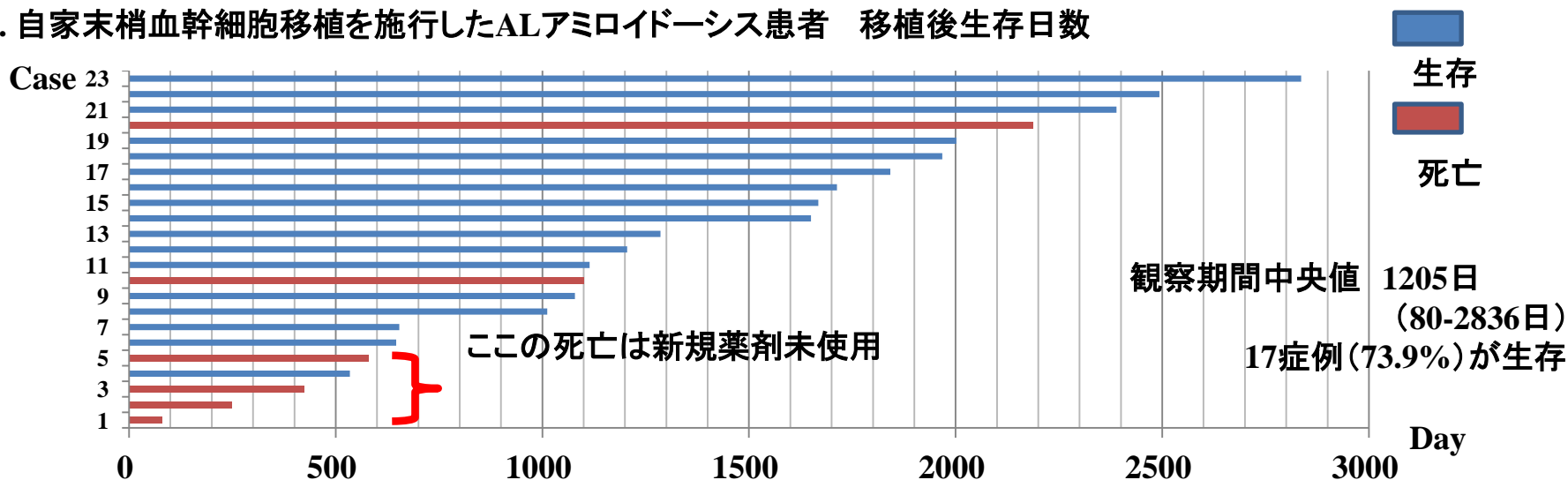
2. 自家末梢血幹細胞を施行したALアミロイドーシス患者 23症例の移植後100日目治療評価

- hematological CR ... 13例 (56.5%)**
 hematological PR ... 8例 (34.7%)
 評価不能 ... 3例 (データ不足2例、早期死亡1例)
 移植100日以内死亡 ... 1例 (治療関連というよりも原疾患の増悪)

3. 自家末梢血幹細胞移植を施行したALアミロイドーシス患者 移植後新規薬剤使用状況

- 移植後PRであったため維持療法として...3例 (2例 BD療法、1例 BD療法→Rd療法→VMelDexa療法)
- 移植後に多発性骨髄腫へ移行...2例 (2例 BD療法)
- 血清軽鎖の増加...2例 (2例 BD療法)
- 臓器障害が進行...2例 (2例 BD療法)

4. 自家末梢血幹細胞移植を施行したALアミロイドーシス患者 移植後生存日数



5. 自家末梢血幹細胞移植を施行したALアミロイドーシス患者の移植後合併症

- アルケラン大量療法後の痙攣・・・2 例 (2 例ともネフローゼ症候群合併症例、投与数日以内に発症)
- 溶血性貧血・・・1 例 (移植後3ヵ月後に発症、ステロイド加療中)
- 狭心症・・・1 例 (移植後3年目に発症、心アミロイドはなかった。)
- 糖尿病・・・3 例 (ネフローゼ症候群にてステロイド継続投与症例)
- 2次発癌・・・1 例 (尿管癌、移植後4年目に発症)

6. 結果と考察

- 当院にてメルファラン大量療法を用いた自家末梢血幹細胞移植を施行された症例の 4割近くがボストン大学の基準やUKアミロイド治療ガイドラインの基準に当てはまっていた。
- 幹細胞採取で2回目の移植分まで採取出来た症例は 3症例に留まった。3割近くの症例で採取CD34陽性細胞数は 2.0×10^6 個/患者kg以下であったが生着不全はなかった。
- TRMが低く抑えられ比較的良好な治療成績が出せたのは、移植後PRの症例や病状再燃の患者に対して新規薬剤が使用されていた事が大きな要因と考える。
- 自家移植後も可能な限りCRの状態を維持し、またはCRの状態に持っていくために、今後も移植前治療を考えるべきなのか、又は移植後維持療法にどの薬剤を使っていくのかを工夫していく必要がある。